

きらりと光る図書館の仕事

名古屋市図書館88景

はじめに

図書館に対するイメージを進化させて、新たな利用者を呼び込みたい。この『名古屋市図書館88景』のねらいはその一言に尽きます。名古屋市図書館全館で、あるいは各図書館で競い合うように行われている魅力的な行事や展示、コーナーづくり、小さな工夫など、「静かに読書したり、本を借りたりする場所」という従来の図書館のイメージの枠におさまりきらない取り組みがたくさん行われています。

音読教室や読書会など、図書館は「みんなで読書を楽しむ場所」です。名古屋の歴史・文化を紹介する名古屋なんでも調査団の活動など、図書館は「地域情報の保存と活用の場所」です。図書館はたくさんのボランティアさんや地域団体との「協働・連携の場所」です。

多彩な図書館の姿を具体的にイメージしていただけるように、『名古屋市図書館88景』では現在実施されている取り組みや小さな工夫、平成25年4月から平成27年8月までに実施された行事や展示、図書館の基本の仕事など、名古屋市図書館のきらりと光る仕事風景を11に分類し、それぞれ8つずつ、合計88の事例を紹介しています。

さて、どうして中途半端な数字のようにも感じる88の事例なのかというと、名古屋市の徽章の△にちなんだもので、名古屋にトコトンこだわる名古屋なんでも調査団の心意気の表れです。従来の図書館のイメージの枠を飛び越え、さらに魅力的な図書館となるよう、名古屋市図書館はこれからもトコトン「読書」に「名古屋」にこだわります。



きらりと光る図書館の仕事

名古屋市図書館 88景

図書館で体験してみよう！

- 1 音読教室 図書館でみんなで声を出す読書
- 2 横に図鑑も置いて図書館のカウンターで昆虫飼育
- 3 図書館の閲覧室で脱出ゲーム
- 4 図書館の閲覧室でエッグハント
- 5 図書館で体験入学 専門学校による講座を体験
- 6 図書館の閲覧室でコンサート
- 7 図書館で収穫祭
- 8 図書館でさわって楽しむ浮世絵展

図書館を楽しむ、読書を楽しむ

- 9 タイムスリップ感覚の図書館ツアー
- 10 「対面読書サービス」口コミ・サポーターの養成
- 11 図鑑で調べて「木に名札をつけよう！」
- 12 おはなし会の後に読み聞かせおうえんタイム
- 13 課題本を読んで参加する読書会
- 14 高校対抗戦のビブリオバトル
- 15 2日間でまるごと1冊、耳からの読書
- 16 大人を対象としたおはなし会を通年開催

本との出会いを演出する

- 17 ワールドカップの勝敗によって替わる展示
- 18 博物館や美術館の企画に連動した展示
- 19 季節感のある展示
- 20 読書みくじ
- 21 おたのしみ袋、福袋、闇鍋
- 22 ほんシェルジュ大賞
- 23 みんなヨンデルー総選挙
- 24 みんなのおすすめ本で大きな絵を作ろう！

コーナー・展示・掲示の試み

- 25 期間限定・事前予約制の館内閲覧サービス
- 26 読書室に辞書と愛知県内大学案内のミニコーナー
- 27 地域の歴史・文化を掘り下げて紹介するコーナー
- 28 子育て応援コーナー
- 29 セカンドステージ応援コーナー
- 30 地域の今昔写真展の開催
- 31 地域の歴史年表と歴史マップを閲覧室に掲示
- 32 南図書館伊勢湾台風資料室展の巡回展示

いろんな形でボランティア

- 33 約140人のボランティアに支えられる点字文庫
- 34 おはなし会ボランティア
- 35 紙芝居入門講座で誕生した紙芝居ボランティアグループ
- 36 外国語のおはなし会 留学生によるものも
- 37 図書館案内ボランティア 大忙しの土曜日の助っ人
- 38 ティーンズサポーター 現役ティーンズが大活躍
- 39 ラジオ体操ボランティア
- 40 図書館まつり ボランティアさんが大集合！

図書館を飛び出して

- 41 自動車図書館
- 42 としょかん出前教室
- 43 図書館で学び、まち歩きや自然体験へ出発
- 44 おはなしどうぶつえん、おはなしょくぶつえん
- 45 区役所に図書館運営の地域の歴史・文化を紹介するコーナー
- 46 愛知サマーセミナーに参加
- 47 ゆるキャラグランプリに参加
- 48 ショッピングモールで図書館をPR

図書館の基本の仕事

- 49 共通貸出返却 どこでも借りられて、どこでも返せる
- 50 図書選択会議・目録作成 新しい本が並ぶまで
- 51 ラストワン 図書1タイトルにつき1冊を保存
- 52 ほんシェルジュ 腕章をつけた本の案内・相談係
- 53 障害者サービス 対面読書・郵送貸出
- 54 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス
- 55 なごやコレクション
- 56 教科書センター 古い教科書も保存

名古屋なんでも調査団

- 57 レファレンス 調べものや資料・情報探しのお手伝い
- 58 イントラネットに名古屋市職員のための図書館ページ
- 59 レファレンス事例を公開 国立国会図書館から礼状も
- 60 名古屋の歴史や文化が楽しめる調査団報告書
- 61 なごやカレンダー 今日は何の日？なごやの日！
- 62 名古屋物語 名古屋を舞台にした小説
- 63 なごやりさ～ち・事項索引
- 64 新聞クリッピング 地味に便利です

子ども読書活動の推進

- 65 保健所健診時におはなし会 はじめての本との出会い事業
- 66 ブックトーク＆読み聞かせ その道の達人派遣事業
- 67 図書館訪問、職場体験の受け入れ
- 68 学校図書館を応援する学校図書館連携窓口
- 69 学習支援図書セット貸出
- 70 特別支援教育資料貸出
- 71 ブックホスピタル 本の修理と修理方法の伝授
- 72 子ども図書館大使 図書館の魅力を伝える仕事

さまざまな連携

- 73 区役所と連携して「歴史に学ぶ防災マップ」を作成
- 74 西部医療センターと連携した医療情報コーナー
- 75 地域団体と連携した仏像も並ぶ特設コーナー
- 76 地元の本屋さんとの連携
- 77 地元サッカーチームとの連携
- 78 地元の商店街との連携
- 79 大学と連携して18時30分からの図書館サイエンス夜話
- 80 名古屋市立高校の文芸部や漫画研究部の作品集合！

こんなものも作っています

- 81 子どもの本のリスト いろいろ
- 82 ボランティア向けの絵本リスト＆紙芝居リスト
- 83 としょかんほんのたね 学校図書館の図書購入の参考に
- 84 なごやっ子読書ノート
- 85 なごやっ子読書カード
- 86 ごちゃっと 体をはったチャレンジ企画が満載
- 87 ブックカバーになる利用案内
- 88 区のマスコットキャラクター付き貸出券

図書館で体験してみよう！

図書館は本を読んだり、借りたりするところです。でも、最近の図書館はそれだけではありません。

図書館で「聞く」。定期的に開催するおはなし会のほか、地域の歴史講演会はもちろん、収納術の講演会、元タカラジェンヌの講演会、プロ野球選手の両親による講演会、落語など、子ども向けから大人向けまで幅広い「聞く」イベントを開催しています。

図書館で「体験する」。声を出してみんなで本を読む音読教室のような読書体験だけでなく、図書館という空間を利用して体験したり、ゲーム感覚で楽しむ企画など、従来の図書館のイメージを超えるイベントもたくさん開催しています。

名古屋市中川図書館 2014（平成26）年3月

長寿イキイキ音読教室

3月6日、「長寿イキイキ音読教室」を行いました。2回目の開催です。16名が参加され、全員で一緒に声を出して作品を読みました。楽しかった、気持ちが軽くなったり、などの感想をいただきました。今後も開催したいと思います。

■ 読んで楽しい読書

「かえるのえんそく」(岩波書店)
日本の昔話です。
・『野ばら』(小川未明)
老人の兵士と青年の兵士の友情と
別れを描きます。
・『やまなし』(宮沢賢治)
カーニの子ども達の会話ですむ幻
想的なお話です。

■ 声に出して楽しい読書

中川区風土記
・「願興寺（がんこうじ）の黄金の雞」
・「むさんどの神様」
中川区の昔話も紹介しました。地域には面白い
歴史が眠っています。

1時間ほど行いました。
音読には脳を活性化する効果も
期待されています。

1

音読教室 図書館でみんなで声を出す読書

名古屋市図書館

「お静かに」が原則の図書館ですが、高齢者向けにあえて声を出す読書を提唱！

みんなで声を出す読書は新鮮で心身の活性化につながります。図書館オリジナルの地域の歴史・文化を紹介するテキストも使用するので、地域への親しみも増します。図書館で本をきっかけとした素敵なお話をはじめましょう！

社会福祉協議会と連携し、名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業のプログラムの一つとしても実施しています。

2

横に図鑑も置いて図書館のカウンターで昆虫飼育

富田、南陽、名東

本を借りるときに必ず立ち寄るカウンターで昆虫を飼育。図鑑などの関連資料も近くに置いてあるので、観察するだけでなく、調べる楽しさも味わうことができます。

名東図書館では、夏休みの子どもたちをターゲットとしてさらに大々的に「めざせ虫博士！」プロジェクトを実施！（平成27年7月18日～8月30日実施）

①飼育している4種のクワガタの名前を図鑑で調べる「図鑑で調べよう！」、②図書館の休館日に家に持ち帰ってお世話をしてくれる小学生を募集する「めずらしい昆虫を家で観察しよう！」（飼い方のアドバイス付き）、③夏休みに見つけた虫や鳥、水中の生き物のいた場所にシールを貼ってみんなで作る「名東区生き物マップを作ろう！」の3つのプロジェクトで図書館をいっぱい活用してもらいました。



めざせ虫博士！



生き物マップを作ろう！



カウンターの昆虫と図鑑

3

図書館の閲覧室で脱出ゲーム

千種、瑞穂

さあ、図書館からの挑戦だ！図書館のカウンターで受け取った指令書に従い、図書館内に散らばっているヒントを集めて、制限時間以内にすべての謎が解けたら脱出成功。図書館の本だけでなく建物全体を使ってゲーム感覚で楽しんでもらう試みでした。

(瑞穂 平成26年8月29日実施、千種 平成26年12月20日～平成27年1月15日実施)

4

図書館の閲覧室でエッグハント

中川

季節の再生を祝う春の祭りイースターでは、綺麗に飾り付けたイースター・エッグを探す「エッグハント」のイベントが行われるそうです。これをヒントに開催されたのが図書館の閲覧室でエッグハント！

『ぐりとぐら』や『たまごにいちゃん』など、タマゴの登場する本を探してもらうイベントで、見つけた本には特製タマゴ型シールを貼って展示したり、借りていってもらいました。（平成25年4月20日～5月16日実施）





図書館で体験入学 専門学校による講座を体験

鶴舞中央

専門学校と協力して、専門技術が体験できる講座を図書館で開催！

体験入学を通してふくらんだもっと知りたいという気持ちにすぐこたえることができるように関連する図書館の本も用意し、より充実した学びの場を作り出すことができました。

学校法人中部学園中部楽器技術専門学校による「さわってみよう！楽器入門！」では、バイオリンをはじめ、ピアノ、ギター、トランペットなど、参加者のみなさんには、思い思いに楽器を演奏して楽しんでいました。会場内にはさまざまな楽器の模型や部品、道具なども並び、間近でプロの技も体験できました。（平成26年8月4日実施）



わたしもバイオリニスト♪



バイオリンの製作中



ピアノの中をのぞいてみよう！



トランペットのお手入れ

愛知県立総合看護専門学校の「のぞいてみよう！看護師の世界」では、看護学校の模擬授業のほか、聴診器で心臓の音を聞いたり、赤ちゃんのモデル人形を使った看護技術も体験しました。（平成26年8月19日実施）



道具を使って看護技術を体験



関連する本を展示

6

図書館の閲覧室でコンサート

富田、南

「図書館並みの静かさ」という表現があるように、多くの人にとって図書館は静かに読書する場所です。そんな図書館の閲覧室を、楽器を演奏する小さなコンサート会場に変身させる試みも行われました。

富田図書館では、愛知大学二胡部「知音（ちいん）」さんをお招きして「中国伝統楽器 二胡の調べ」を開催し、音色だけでなく美しい民族衣装も堪能しました。

（平成26年12月13日実施）

南図書館では、開館50周年記念企画の最後を飾るイベントとして「フロアコンサート フルート・デュオ」を二部に分けて開催したところ各回60名の方が集まる大盛況でした。（平成27年3月7日実施）



民族衣装を着用して演奏



心が癒されるフルートの音色



図書館で収穫祭

志段味、名東

名東図書館にある「名東ガーデン」と名付けられた広いお庭にはちょっとした秘密があります。なんと「じゃがいも」や「かぼちゃ」などが植えられているのです。

ボランティアさんにもご協力いただきて大切に育てた野菜が食べごろになったころ、おはなし会を開催して、その後にみんなで楽しく収穫しました。（写真は平成27年7月9日実施の10キロのじゃがいもの収穫の様子）

志段味図書館でもグリーンウォール事業として、ゴーヤを育て、収穫祭を開催しました。栽培にあたってはグリーンボランティアを募集し、グリーンウォールの設置からお手入れまでご協力いただきました。（平成27年5月～9月実施）



ここほってごらん



立派なゴーヤができました



図書館でさわって楽しむ浮世絵展

名東

名東図書館では、寄贈された木版画68枚を活用して「～さわって楽しむ浮世絵～歌川広重木版展」を開催しました！

じっくり目を近づけたり、指先でそっとふれて楽しめるようにしたので、「版画の表現のこまかいところがよくわかった」「手で触れた感触がいい」と大好評でした。目の不自由な方にも、点字の題名（鶴舞中央図書館の点字文庫で作成）やモチーフの形をさわって楽しんでいただくことができました。

ぬり絵ワークショップでは、講師の先生に、ただぬるだけではなく、こすったり、消しゴムで白抜きにしたりする技法を教えていただき、豊かな表現のぬり絵ができあがりました。

感想ノートには「広重がしょうぼうしさんとは知らなかった」「版画にさわられてうれしい」「むかしのひとの絵はきれいだ」などなど。クイズやぬり絵もたくさんの方に投稿していただいて、幅広い世代の人に楽しんでもらえる浮世絵展でした。（平成27年3月10日～3月22日実施）



展示会の全景



こまかいところまでじっと



ぬり絵のワークショップ



自由参加のぬり絵の展示

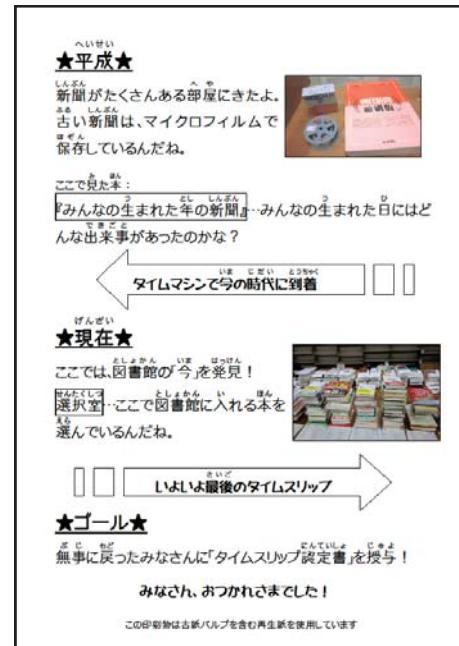
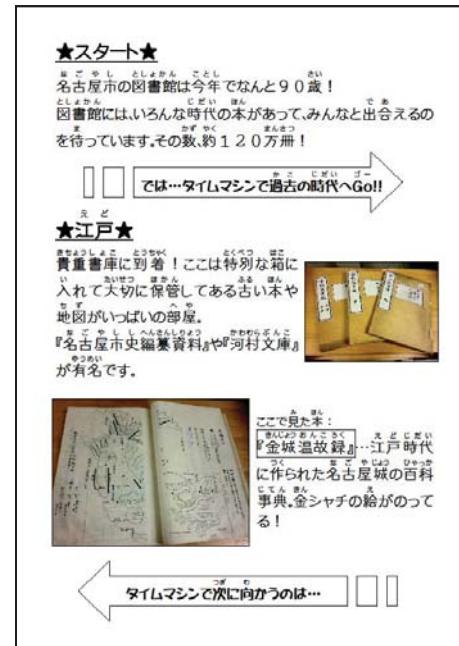
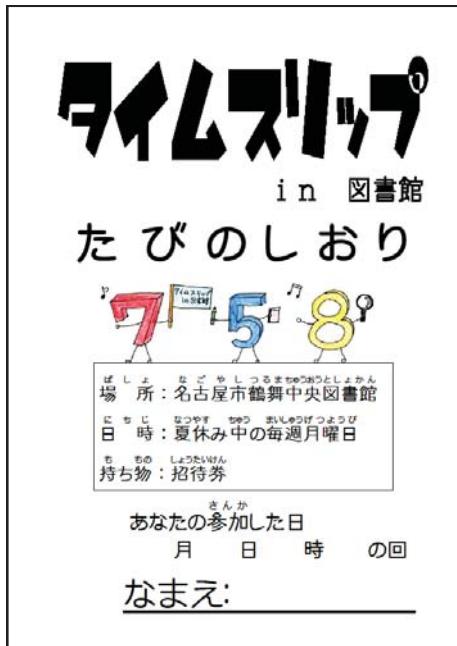
図書館を楽しむ、読書を楽しむ

図書館には自分の読む本をじっくり選んで借りていく人、読み聞かせなど家族で楽しむための本をたくさん借りていく人、調査研究のために司書に相談しながら本を探す人など、いろんな方がいらっしゃいます。

さまざまなジャンルの本がたくさんある図書館ですから、いろんな図書館の使い方があると思います。でも、せっかくならみなさんにもっともっと図書館を活用してもらいたいと、図書館の仕事や仕組みについて楽しく学べる行事を企画することもあります。また、読書会やビブリオバトルなど、みんなで読書を楽しむための行事も開催しています。

鶴舞中央図書館には江戸時代の貴重な本から現代の本までさまざまな時代の本が保存されていることを知つてもらうために開催されたのが、「タイムスリップ in 図書館～タイムマシンは図書館の中に～」です。

エレベーターを改造して作られたタイムマシーンにのって、まずは江戸時代へひとつとび！その後は明治から平成まで、いつもは入ることができない書庫も探検しながら、図書館の資料を使った時間旅行を楽しんでもらいました。（平成25年7月～8月実施）



10

「対面読書サービス」の口コミ・サポーターの養成

港

通常の活字図書を読むことが困難な方でも読書が楽しめ
るように、図書館には読書のバリアフリーの仕組みもあ
ります。

港図書館では、みんなが使える図書館の読書のバリアフ
リーの仕組みを理解してもらおうと「対面読書サービス」
口コミ・サポーター養成「港図書館でバリアフリーを体験
しよう」を開催しました。

さわる絵本や大きな活字の本、拡大読書器の操作、対面
読書の模擬体験、郵送貸出など、視覚障害や身体障害の方
などに対する図書館のサービスを学んでいただき、最後に
は「対面読書口コミ・サポーター証」をお渡しました。

（平成26年8月23日実施）



高齢者体験メガネをかけて



最後に口コミ・サポーター証を

11

図鑑で調べて「木に名札をつけよう！」

瑞穂

平成27年7月に移転開館した瑞穂図書館では、開館にあ
たって、みどりをできるだけ保全しようと多くの樹木が残
されました。しかし残念なことに、樹名板がありませんでした。図書館のカウンターにはときどき植栽の樹木の名前
を教えてほしいという方がいらっしゃいます。図書館とし
ても予め調べておきたいところ。

そこで、図書館近くの2つの小学校と連携し、総合学習の一環として子どもたちと木の名札づくりをすることにしま
した。子どもたちは、地域の方が見守る中、職員やボラン
ティアさんと一緒に図書館の図鑑で木の名前を調べ、56本
の樹木に手書きの名札を取り付けてくれました。（平成27
年7月13日実施）



図鑑で木の名前を調べて



名札をつけよう！

12

おはなし会の後に読み聞かせおうえんタイム

西

図書館の乳幼児向けのおはなし会はいつも大盛況で、おはなしの部屋が狭く感じられるほどです。

絵本や紙芝居、手あそびなど、親子で楽しんでいただく乳幼児向けのおはなし会が終了すると、西図書館の「読み聞かせおうえんタイム」がはじまります。赤ちゃんも楽しめる絵本など、ちょっととした本の紹介や読み聞かせについての質問を受ける時間を設けて、読書についてゆったりと語らう機会をつくっています。

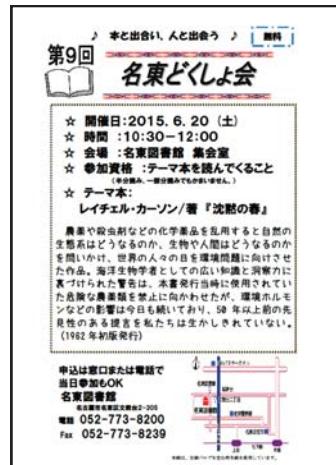
13

課題本を読んで参加する読書会

名東

本を読んだ後、読んだだけではもったいない、誰かにしゃべりたい、他の人がどう思ったかきいてみたい、と思うことはありませんか。そんな人に気楽に集まつてもらう読書会です。

「名東どくしょ会」の参加資格は課題本を読んでくることだけ。半分読み、一部分読みでもかまいません。



14

高校対抗戦のビブリオバトル

東

ビブリオバトルは、プレゼンター（発表者）がおすすめの本をプレゼンしあい、参加者の投票で一番読みたくなった本（チャンプ本）を決めるというここ数年で日本各地で開催されるようになった新しい読書の楽しみ方です。

東図書館では、東区役所・市民ギャラリー矢田との共催事業として区内の高校による対抗戦を開催！本について語る高校生の熱い戦いがくりひろげられました。（平成27年8月8日実施）

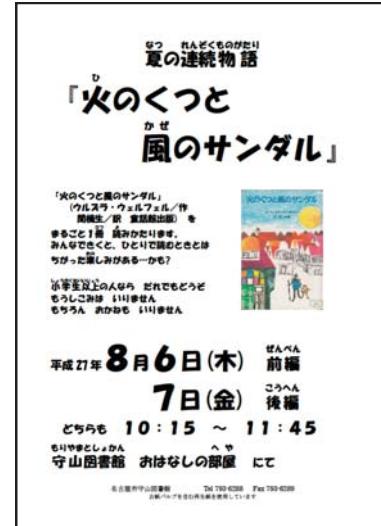
15

2日間でまるごと1冊、耳からの読書

守山

ちょっと長めの物語を2日間かけて、まるごと1冊読み語り。みんなで楽しむ耳からの読書は、一人で読むのとは一味違った面白みがあります。

途中休憩をはさみながら、1日約1時間半、2日間では約3時間の読み語りでしたが、子どもたちは熱心に耳をかたむけ、参加者全員で最後まで読み終えました。中には、もう一度読みたいと読み終えたばかりの本を借りて帰る子どもも。子どもたちの聞く力、読む力を感じることのできる試みでした。（平成27年8月6日～7日実施）



16

大人を対象としたおはなし会を通年開催

中村

図書館の定番行事といえば「おはなし会」です。おはなし会の多くは子どもや親子を対象として開催されていますが、最近は大人向けのストーリーテリング（耳で楽しむおはなし会）なども開催されるようになりました。

そんな定番になりつつある大人向けのおはなし会を、開館50周年を記念して通年で開催するのが中村図書館の「きらきらクラブ」です。きらきらクラブでは、絵本や紙芝居のほか、中村区や各地に伝わる民話を聞いたり、歌や工作まで、子ども向けに負けない内容で年6回開催されます。（平成27年度実施）



山田図書館マスコットキャラクター
本の妖精「ヤマリー」

本との出会いを演出する

好きな著者の本、装丁が素敵な本、心ひかれる書名の本。人との出会いと同様に、本との出会いが人生を左右することだってあります。

工夫をこらした本の展示やおすすめ本の紹介など、ささやかながら本との出会いを演出させていただくのも図書館の仕事です。

17

ワールドカップの勝敗によって替わる展示

富田

図書館では、大小さまざまですが、テーマを設けて関連資料を並べる本の展示を日常的に行っています。通常、本の展示は同じテーマで一定期間行いますが、富田図書館の「ワールドカップ2014 ブラジル大会記念展示 勝ち残る国はどこか！？」は展示期間中に徐々にテーマが絞られていくという珍しい試みでした。

展示枠は各国当初は1つで、ワールドカップの試合結果によって変動し、敗退した国の資料は外され、勝ち進んだ国や地域に関する資料が増えています。最終的には優勝国に関する資料が展示台のすべてを埋め尽くすという形で栄誉をたたえました。（平成26年6月12日～7月17日実施）



勝ち残る国はどこか！？

18

博物館や美術館の企画と連動した展示

名古屋市図書館

名古屋市博物館や名古屋市美術館の企画展に刺激を受け、図書館でそれらの企画に連動した本の展示を行うことがよくあります。

博物館や美術館からいただいたポスター・チラシを活用して飾り付け、企画展の内容に関連する本を集めて並べるだけでなく、さらに詳しく知りたいという方のためにブックリストも作成します。

まだ企画展に行ってない方にはこの機会を逃さないように、もう企画展を行ってきた方には関連本でさらに楽しんでもらおうという図書館での本の展示です。



博物館の企画に連動



美術館の企画に寄せて

19

季節感のある展示

名古屋市図書館

この展示は時事に関するもののように鮮度が求められるものもあれば、本を並べる視点の切れ味が求められるものもあります。そんな本の展示にも定番があります。それは季節の展示です。図書館では少しだけ季節を先取りして、利用が増えそうな関連本を寄せ集め、季節感のある本の展示を準備します。その他、図書館では季節を感じさせる飾りつけもお楽しみいただけます。



大正時代の雛人形も毎年展示
(鶴舞中央)

20

読書みくじ

ゆるキャラグランプリ

図書館の本を持っていくことが難しい名古屋市外で開催される屋外イベント（ゆるキャラ（R）グランプリ in あいちセントレア）でも図書館のこだわりとして、本と出会うきっかけづくりをしたい！

そこで、読書運を占うおみくじ形式でおすすめ本を紹介することにしました。みんな大吉にしてあげたいくらいだけど、大吉はやや少なめに。凶はちょっとぴりと。読書運とおすすめ本の他に名古屋情報も加えた「読書みくじ」を合計で1,500枚用意しましたが、3日間のイベントですべてなくなりました。

ゆるキャラグランプリ
2014 in あいちセントレア
ヨンデルー参加記念

読書みくじ

大吉

読書運	★★★★★
ラクダ	江戸時代、名古屋にもやってきた！
おすすめ本	『図書館ラクダがやってくる』マーグリート・ルアーズ/著(ちしき) 世界の図書館では、こんなふうに本を届けているんだ！

港、瑞穂、熱田、中川、志段味

おたのしみ袋、福袋、闇鍋と呼び方はさまざまですが、どんな本なのかわからないように包み紙で隠した状態で本を借りていただきます。

包み紙に一言コメントを付ける場合もありますが、中身は借りてからのお楽しみ。普段は手に取らないような本との思いがけない出会いがあるかもしれません。



おたのしみ袋

読書フェスティバル

名古屋市図書館の司書（ほんシェルジュ）約120人が特に思い入れのある一冊の紹介文を書き、本の魅力を伝える技術を競う企画。内部選考により選ばれた10点の紹介文の中から一般投票で「ほんシェルジュ大賞」を決定しました。（平成25年度実施）

☆「ほんシェルジュ大賞」とは？

ある時は窓口やフロアで対面して、ある時はテーマ展示で、ある時はブックリストや図書館ホームページで…。本との出会いをお手伝いできるよう、本についてご案内する仕事は、ほんシェルジュ（図書館司書）の大切な仕事のひとつです。

そんな本の紹介のプロであるほんシェルジュが、特に思い入れのある一冊を選んで紹介文を書き、本の魅力を伝える技を競います。内部選考により選出された優秀作10点の中から、ナンバー1（ほんシェルジュ大賞）を決定します。この優秀作品集を読んで、読んでみたくなった本の紹介文に投票してください。

大賞は11月4日に名古屋市公会堂で開催する読書フェスティバル会場で、午後3時に発表します。

☆大賞決定までの流れ

```

    全ほんシェルジュ (約120名)
    による紹介文
    → 内部選考 (済)
    優秀作 10点 選出
    → 一般投票 (今回)
    → 大賞が決定!!
  
```

☆投票方法

- 読んでみたいと思った紹介文のエントリーパン
- 名古屋市図書館共通貸出券番号(バーコードの下の10ケタの番号)を専用投票用紙に明記の上、各図書館設置の投票箱へ投票してください。

名古屋市図書館ホームページ内のほんシェルジュ大賞特設サイトから、メール送信による投票も可能です。また、11月4日のみ読書フェスティバル会場(名古屋市公会堂)でも投票いただけます(投票受付時間 午前10時30分～午後1時)。

☆プレゼントがもらえるかも！?

投票いただいた方の中から、抽選で5名の方に記念品をプレゼントします。

問い合わせ先：読書中央図書館 Tel:052-741-3131 (代表)
[図書館ホームページ](http://www.library.city.nagoya.jp/)

**わたしの一冊グランプリ
ほんシェルジュ大賞
／ミネート作品集**

ほんシェルジュ（図書館司書）が書いた本の紹介文優秀作10点の中から、一般投票によりナンバー1（ほんシェルジュ大賞）を決定します。

あなたの1票が大賞を決めます。
投票をお願いします！

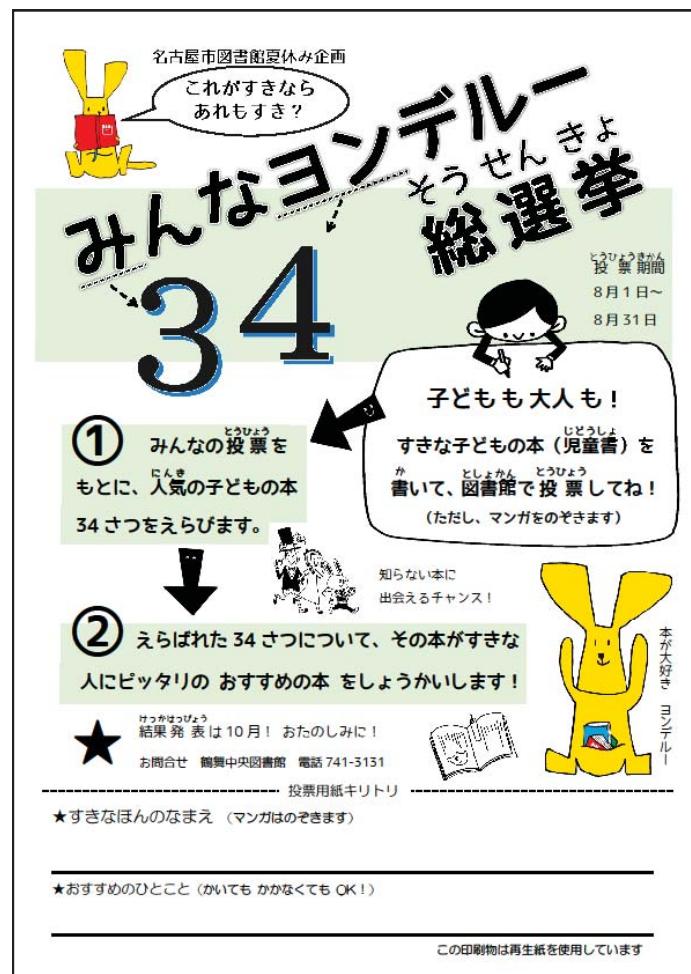
投票期間：2013年10月1日（火）～10月31日（木）
投票場所：名古屋市図書館全館と図書館ホームページ

*11月4日（月・休）のみ読書フェスティバル会場（名古屋市公会堂）でも投票いただけます。投票受付時間：午前10時30分～午後1時

好きな子どもの本（児童書）を投票してもらって人気の子どもの本を34冊選ぶ、みんなヨンデルー総選挙！

これがすきならあれもすき？選ばれた34冊を対象に、その本が好きな人にピッタリのおすすめ本を司書（ほんシェルジュ）が紹介して読書への興味をか立て、もっとたくさんの本を読んでもらおうという作戦です。

（平成26年度実施）



子どもたちは絵を描いたり、折り紙を作ったりすることが大好きです。

自分の好きな本を書いた小さな折り紙のこいのぼりをみんなで並べたら、大きな大きなこいのぼりができました。みんなの好きな本で大きな木を育てている図書館もあります。図書館の大きな絵にはおすすめ本がいっぱいです。



大きな大きなこいのぼり



中川図書館マスコットキャラクター
「あらっこ」

コーナー・展示・掲示の試み

図書館の本は内容により、日本十進分類法という本の並べ方のルールにより並べられています。図書館をよく使う方には便利なのですが、通常は本がただずらっと並んでいて背中のタイトルの部分しか見えないので、本の魅力もやや埋もれてしまいがちです。

そこで、本の表紙を見せて飾ったり、新たなコーナーを作ったりして、本の魅力が伝わるように工夫します。コーナーによっては、本だけでなく地域で開催される関連行事のチラシを置いたりすることもあります。利用の多い地域の歴史・文化の本もただ並べておくだけでなく、図書館から積極的に地域の歴史・文化について情報発信する試みも増えてきました。

25

期間限定・事前予約制の館内閲覧サービス

鶴舞中央

超話題作の場合、予約の順番待ちが1年以上となることもあります。ベストセラーの登場はより多くの方に本に興味をもっていただける喜ばしい機会なのですが、図書館では常に貸出中でこの機会を活かしきれていませんでした。

予約件数が2,000件を超える大ベストセラーの登場を機にはじまったのが、鶴舞中央図書館の館内閲覧サービスです。おひとり3時間、今話題の本を今読めるようにするだけでなく、これをきっかけに本への関心がさらに広がるよう、超話題作の著者の愛読書や司書のおすすめ本もご紹介します。この館内閲覧サービスは予約件数が2,000件を超えた場合に実施する期間限定のサービスです。（平成27年8月26日開始）



著者の愛読書も紹介

26

読書室に辞書と愛知県内大学案内のミニコーナー

鶴舞中央

鶴舞中央図書館地下1階の読書室は、構造上1階・2階の閲覧室から遠く離れているため、主に高校生などの学習室として利用されています。そこで、勉強する高校生に使ってもらおうと、読書室に家庭で不用となって寄贈された辞書と愛知県内の大学から提供していただいた大学案内を並べたミニコーナーを設けています。



読書室のミニコーナー

中川

収集・保存にとどまらず、地域の歴史・文化をさらに掘り下げる調べ、積極的に情報発信する試みもあります。

中川図書館の中川区情報スポットライトでは、興味深い地域の歴史・文化について鶴舞中央図書館の資料も活用して、ときには実際に現地におもむいて写真を撮ったり、地元の方に聞いたりして調べたことを積極的に情報発信しています。



中川区情報スポットライト

日本の家紋は二万種類以上あるといわれ、世界でも類のない日本独特の文化のひとつです。家紋はもともと公家が文様として衣装や調度品、牛車などに用いていたもので、それを武士が戦場での目印として、旗や兜などに用いるようになり、やがて家を表すものとなりました。

そして、神社や寺のようにさまざまな組織がその象徴として紋章を用いるようになりました。

さて、学校を表す紋章といえば校章です。梅を園芸化した梅校章には梅の花をかたどった梅花紋と、五つの円を梅の花びらに見立てた梅鉢紋がありますが、中川区の小学校の校章にも梅鉢紋がデザインされたものがあります。校章にはその地域ゆかりの深いものが图案に用いられることが多いですが、これらの梅鉢紋は前田家の家紋である加賀梅鉢に由来し、加賀百万石の祖となつた前田利家のような偉人が輩出するよう「に念願したものだそうです。

ところで、梅紋でもっとも有名なのが菅原道真を記した天満宮の神紋です。また、梅鉢紋を用いた美濃斎藤氏は領内各所に天満宮を勧請したそうです。江戸時代に菅原道真的末裔を称するようになった前田家も美濃斎藤氏の出自だといわれています。したがって、前田家の梅鉢紋はそもそも菅原道真、つまり学問の神様に由来しているともいえます。そう考えると、梅鉢紋は学校にびつたりの圖案なのではないでしょうか。

中川区風土記 加賀梅鉢と校章

富士権現天満宮（荒子四丁目）

荒子城の一部だったと伝えられる富士権現天満宮には梅が植えられています。

社殿の神紋

社殿には前田家の家紋と同じ加賀梅鉢の紋章があります。

名古屋市中川図書館 平成二十六年三月
(六月修正)

梅鉢紋がデザインされた中川区の小学校の校章

中島小学校 → 西中島小学校

中川区には加賀百万石の祖となつた前田利家のような偉人が輩出するようにと念願し、校章に前田家の家紋である加賀梅鉢の図案を用いたる様子です。学校区に富士権現天満宮がある荒子小学校から野田小学校と中島小学校が独立し、中島小学校から西中島小学校が独立しました。西前田小学校は旧前田村にあります。

少子化が進み、次世代育成はとても大きな課題となっています。図書館ができる子育て支援策の一つとして中川図書館には「子育て応援コーナー」があります。

絵本を選ぶ小さなお子さんのそばで保護者の方が子育て本も選べるように絵本や児童書の本棚の一部に設けられた「子育て応援コーナー」には育児・家庭教育・健康・離乳食・食事・あそび・お父さんなどのテーマごとに本が並べられています。

子育てに役立つ情報は本だけではありません。地域の子育て情報の多くはチラシで紹介されていますので、関係各所に提供していただいたチラシもコーナーにいっしょに並べ、多くの方にご利用いただいています。



子育て情報のチラシも

図書館の閲覧室は大きく児童と一般に分けられ、それぞれ本が並べられてきました。近年、その中間的存在として10代向けの本を集めたティーンズコーナーが各図書館で誕生しました。本が少しでも選びやすくなるようにと、対象となる年齢層を示したものです。

中川図書館では、さらにシニア世代の方向けに、医療・食事、レクリエーション・運動、年金・仕事、住まい、福祉・介護など第二の人生の充実とイキイキとした長寿社会の実現に役立つ本を紹介する「セカンドステージ応援コーナー」を設置し、生活感覚で本が選べるように工夫しています。また、中川区を中心とするシニアライフ関連のチラシなども提供し、コーナーの充実を図っています。



シニアライフ関連のチラシも

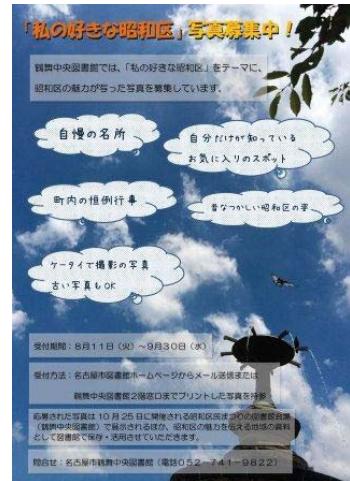
30

地域の今昔写真展の開催

鶴舞中央ほか

図書館で区役所などの所蔵する写真を活用した地域の今昔写真展が開催されることがあります。ときには懐かしそうに、ときには初めて知ったと今昔の移り変わりをみんな楽ししそうに眺めていらっしゃいます。

地域のランドマークや恒例行事などの写真も、地域の魅力を伝える地域資料として図書館が収集・保存すべき対象です。名古屋市図書館でも地域の魅力を区内外や未来に発信するため、図書館での保存・活用を前提として広く市民の方に写真の提供を呼びかけ、さらに図書館で保存した写真を活用してもらおうという取り組みもはじめています。



写真募集中！

31

地域の歴史年表と歴史マップを閲覧室に掲示

山田

山田図書館のある山田地区に人が住み始めた歴史は古く、弥生時代にはすでに大きな集落がありました。戦国時代には織田信長の家臣・佐々成政の拠点である比良城があり、近くの蛇池では現在でも神事が行われています。

数々のドラマが繰り広げられた地域の歴史を感じてもらえるように、閲覧室に地域の歴史年表と歴史マップを大きく掲示しています。



歴史年表は随時更新中

鶴舞中央、中川、港、南

昭和34年9月26日、東海地方を中心に多大な被害をもたらした伊勢湾台風は、名古屋市南区・港区・中川区のほとんど全戸が浸水被害を受けるという大災害でした。伊勢湾台風襲来30年を契機に、防災の啓蒙活動を促進することを目的として、各地の官公署に保存されていた資料をはじめ、災害が書かれている社史、学校史、新聞の切り抜き、フィルム、被災写真など、図書約900冊、写真約3,000枚が集められ、平成4年3月に開設されたのが南図書館伊勢湾台風資料室です。

伊勢湾台風襲来55年にあたる平成26年には、伊勢湾台風の経験を過去の記憶だけにとどめず、教訓として将来に活かすため、南図書館伊勢湾台風資料室展「伝えたい、濁流が残した記録」と題した写真パネルや関連図書の巡回展示を鶴舞中央図書館と被害の大きかった南部地域の図書館（南・港・中川）で開催しました。

また、関連行事として鶴舞中央図書館では名古屋地方気象台による講演会、南文化小劇場では伊勢湾台風を体験した市民3名を招いた座談会や映画会を実施したほか、伊勢湾台風を知るための基本的な資料や伊勢湾台風を題材とした文学作品、伊勢湾台風資料室を紹介するパスファインダー「伊勢湾台風を調べる」を作成しました。この南図書館伊勢湾台風資料室展の様子は報告書にまとめられ、図書館資料として閲覧・貸出できるようになっています。（平成26年7月19日～11月20日実施）



いろんな形でボランティア

図書館の仕事は本当にたくさんのボランティアさんの協力で成り立っています。定番のおはなし会のボランティアさんをはじめ、中にはラジオ体操ボランティアさんのように一風変わったものも。

図書館にはみなさんの想像以上にいろんな仕事があります。そして、そんな図書館のいろんな仕事にいろんな形で協力してくださるボランティアさんもたくさんいるのです。

33

約140人のボランティアに支えられる点字文庫

鶴舞中央

鶴舞中央図書館の点字文庫は、視覚障害や身体障害・寝たきりなどで通常の活字図書を読むことが困難な方に点字図書や録音図書の貸出などを行っています。現在では点字図書と録音図書をそれぞれ約1万タイトル所蔵していますが、当初は207冊の点字図書からスタートしたと記録されています。

利用者が貸出を希望する点字図書・録音図書を点字文庫で所蔵していればよいのですが、所蔵していないこともあります。そんなときは、まずはインターネットで日本全国の点字図書・録音図書を調査し、所蔵している図書館があれば借り受けて利用者に貸出します。他の図書館にもない場合は、ボランティアさんの協力により点字文庫で製作します。

点字文庫には現在点訳グループが6団体、音訳グループが4団体あり、併せて約140人のボランティアさんの皆様に支えられて、障害のある方にも読書の楽しみを届けています。

34

おはなし会ボランティア

名古屋市図書館

図書館のおはなし会のうち特に人気があるのが乳幼児向けのおはなし会で、おはなしの部屋に入りきらぬほどの参加者がいる図書館では同じ内容で1日に2回開催しています。幼児・小学校低学年向けのおはなし会は各図書館で月に2~4回開催されています。同じメンバーが連続して参加する読書クラブ形式のおはなし会もあります。夏休みには部屋を暗くして「こわいおはなし会」を行う図書館もあります。最近は、ティーンズ向けや大人のためのおはなし会も開催されるようになりました。おはなし会では絵本や紙芝居の読み聞かせだけでなく、語り手がおはなしを覚えて話すストーリーテリングやわらべうたも。

平成26年度にはおはなし会等を1,881回開催し、43,237の方にご参加いただきました。図書館でこんなにもたくさんのおはなし会を開催できるのは、司書といっしょになって活動してくださるボランティアさんがいるからです。平成26年度には753の方におはなし会・行事のボランティアとして大活躍していただきました。

35

紙芝居入門講座で誕生した紙芝居ボランティアグループ

名東

図書館では、おはなし会などのボランティアさんの募集も兼ねた講座を開催することもあります。

名東図書館1日セミナーとして平成26年1月に開催された「紙芝居入門」もそんな講座の一つです。紙芝居の歴史や特徴、演じ方を学ぶ講座でしたが、地域で活躍するボランティアさん、お孫さんに読んであげたいと来てくださった男性、自作の紙芝居をお持ちの方、幼児教育に携わる若い方まで、さまざまな方が集まってくれました。

そして、この講座をきっかけに紙芝居のおはなし会を行うボランティアグループが誕生し、春・夏・冬休みの年3回、名東図書館で新たに「紙芝居のおはなし会」が開催されることになりました。



紙芝居入門



講座の様子

36

外国語のおはなし会 留学生によるものも

鶴舞中央ほか

図書館のおはなし会は、ボランティアさんのおかげでときどき外国語で行われることがあります。

また、大学や名古屋国際センターと連携した留学生による外国語のおはなし会では、図書館の本を使った外国語での絵本の読み聞かせやのほか、留学生のお国自慢やじゃんけんなど、聞きなれない外国の言葉だけでなく文化も楽しめます。

外国語のおはなし会で一番多いのは英語ですが、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語のおはなし会が開催されたこともあります。



中国語で読み聞かせ



世界のじゃんけん

図書館の利用が多いのは毎週土曜日です。図書館の司書（ほんシェルジュ）に何でも聞いていただきたいのですが、たくさんの利用者がいて忙しそうだからと遠慮される方もいらっしゃるようです。そこで誕生したのが図書館案内ボランティア。

大忙しの土曜日の「検索機の使い方がわからない…」「近くのコンビニの場所を教えて」などの声に、市民目線で案内してくれるとてもありがたいボランティアさんです。

10代に読んでもらいたい、10代に人気がある本を集めたティーンズコーナーが各図書館にあります。

中でも現役ティーンズという心強いサポーターのいる東図書館のティーンズコーナーはまさに、ティーンズによるティーンズのためのティーンズコーナーです。

展示替えや掲示板の模様替え、本を手に取ったときに現れるブックスタンドの飾りの作成など、名古屋市立工芸高等学校と連携して運営されている東図書館のティーンズコーナーには現役高校生ならではの感覚とアイデアがいかされています。

東図書館のティーンズサポーターの活躍の場は、ティーンズコーナーの運営にとどまらず、夏休みのイベントへの協力や「東区高校生ビブリオバトル」の広報チラシの作成など、ティーンズ向けサービスの全般にわたっています。



サポーター作成の看板①



サポーター作成の看板②



ブックスタンドの飾り

39

ラジオ体操ボランティア

熱田

毎週金曜日は熱田図書館のラジオ体操の日！

館内整理日の第三金曜日を除く金曜日の開館10分前、午前9時20分から熱田図書館の玄関前ではラジオ体操がはじまります。平成25年10月にはじめた毎週金曜日のラジオ体操はボランティアさんの協力もあり、いまやすっかり定番となりました。

40

図書館まつり ボランティアさんが大集合！

鶴舞中央ほか

図書館の仕事にいろいろな形でご協力いただいているボランティアさんが大集合する図書館まつり。

たくさんのボランティアグループのみなさんが、それぞれの特技を活かして、図書館を楽しいお祭りの場に変身させてくれます。大型絵本に紙芝居、パネルシアターや人形劇。お祭りの中心となるおはなしの部屋では普段よりもおおがかりなスペシャルなおはなし会が開催されます。

お祭りといえば屋台も楽しみです。図書館まつりでも屋台のように館内各所でさまざまな催しが準備されます。

平成26年9月13日、開館50年記念としてさらに盛大に行われた「第27回南図書館まつり」では、児童コーナーで子どもたちのリクエストに応じて作るバルーンアートをプレゼント。ロビーには似顔絵コーナーや館内をめぐるスタンプラリーも。延べ400人近く子どもたちが参加した、にぎやかなお祭りになりました。



南図書館まつり



おはなし会スペシャル



似顔絵のコーナーも



鶴舞中央図書館マスコットキャラクター

「つるちゃん」

図書館を飛び出して

図書館にはたくさんの本がありますが、せっかくの本も利用する人がいなければ宝の持ちぐされです。

図書館とその本をもっともっと活用してもらうためには、ときには図書館を飛び出して図書館の魅力をPRする取り組みも必要です。図書館からの飛び出し方はいろいろですが、目的はひとつ。図書館とその本を活用してもらうことです。

41

自動車図書館

自動車図書館

名古屋市には中区を除く各区と支所管内に1館ずつ、合計で21の図書館がありますが、実はそれだけではありません。その他に2台の自動車図書館があります。

図書館が遠く日常的に利用できない地域に図書館の本をまとめて持って行って貸出するという仕組みは、大正15年の「巡回文庫」までさかのぼることができます。図書館の本を運ぶ専用車両が導入されたのは昭和31年のことで、現在ではそれぞれ約3,000冊の本を乗せた2台の自動車図書館が、図書館から1.5km以遠の場所で1学区につきおおむね1か所、合計で100か所以上の自動車図書館駐車場を巡回して本の貸出を行っています。

自動車図書館駐車場の多くは公園ですが、中には地元のご厚意により寺院や病院の敷地などを利用させていただいている所もあります。小学校の敷地を利用した駐車場では子どもたちにもっと図書館について知ってもらおうと「ヨンデルーと学ぼう自動車図書館あおぞら教室」を平成26年度より実施しています。また、読書フェスティバルなどのイベントに出動することもあります。



初の専用車両



サマーセミナー2014

42

としょかん出前教室

名古屋市図書館

図書館を利用したことがある方でも、図書館のさまざまな事業や便利な使い方についてお話しすると意外に知られていないことが多々あるようです。

名古屋市図書館の建物館21館と自動車図書館をもっと活用してもらおうと、町内会や子ども会などの団体向けに、図書館職員が出向いてお話をさせていただく事業が「としょかん出前教室」です。平成24年度に開始し、平成26年度は9回実施しました。

43

図書館で学び、まち歩きや自然体験へ出発

鶴舞中央ほか

街道と旅のコーナーのある北図書館では、楽しみながら地元の歴史にふれる「歩く」シリーズとして、毎年まち歩きを企画しています。

守山図書館では連続講座として、地域を流れる矢田川について図書館で学び、矢田川に入って自然を体験する「矢田川自然学習」を行っています。

謎解き歴史まち歩きイベント「ぶらり名古屋城下町」の開催に合わせて関連する貴重資料を紹介する鶴舞中央図書館の展示など、図書館の資料を活用して地域について学ぶだけでなく、さらに図書館を飛び出して、市民とともに地域の魅力を体験・再発見する試みも増えてきています。



桜の季節にまち歩き



「本町通をさんぽする」
貴重資料の展示

44

おはなしどうぶつえん、おはなししょくぶつえん

千種

千種図書館と東山動植物園はおとなり同士。千種図書館は本で動植物のことを知ることができるところ、東山動植物園は本物の生き物を見ることができるところ。せっかくおとなり同士なのだから、お互いのよいところと一緒に体験してもらおうと始まったコラボ企画です。

図書館の本を持って行って、「おはなしどうぶつえん」では飼育員さんによるおはなしと、「おはなししょくぶつえん」では植物の実験やムシ博士とコラボしました。



コアラ舎の前で読み聞かせ



ライオンのおはなし



草花あそび

45

区役所に図書館運営の地域の歴史・文化を紹介するコーナー

中川

中川区役所1階の待合ロビーの一等地にはもともと前田利家コーナーがありました。郷土の英傑に関する本を集めたせっかくのコーナーでしたが、待ち時間にその本を読み通すのは難しく、図書館のように本を貸りて帰ることはできませんでした。

そこで、この一等地を見て楽しめる地域の歴史・文化を紹介する展示コーナーとして使わせてほしいと中川図書館から中川区役所に提案しました。

こうして中川区役所1階に中川図書館が運営する「中川区風土記」のコーナーが誕生し、中川図書館の利用案内も置かせていただいています。（平成26年3月3日設置）



図書館運営の区役所のコーナー

46

愛知サマーセミナーに参加

名古屋市図書館

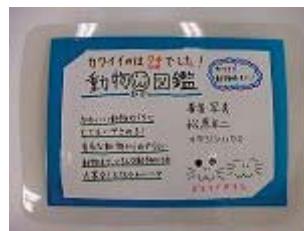
地域と学校が結びついた夢の学校「愛知サマーセミナー2015」に図書館も参加しました。今回は愛知淑徳中学校・高等学校の図書室で、「知って得する！図書館活用術＆POP作り」と「図書館の一日を紹介！＆ミニ工作教室」の2つの講座を開催。図書館から伝えたいことをお話しした後、おすすめの本を紹介するPOPや絵本のカバーを使用した手さげバックを作りました。（平成27年7月18日参加）



皆さん熱心に描いています



友達と相談しながら作成中



POPができました！

47

ゆるキャラグランプリに参加

ゆるキャラグランプリ

名古屋市子ども読書活動推進計画のマスコットキャラクターである本が大好きなカンガルーのヨンデルーは、図書館や名古屋市内で開催されるイベントで大活躍！

鶴舞中央図書館に住んでいるヨンデルーがもっともっと名古屋市図書館をPRしようと、初めて名古屋市を飛び出して参加したのが、「ゆるキャラ（R）グランプリ2014 in セントレア」。ヨンデルーのブースでは、読書みくじやブックカバーになる利用案内を配布したり、ヨンデルーのお仕事風景写真「ヨンデルーのとある1日」と名古屋なんでも調査団の「調査団報告書」を展示して、名古屋市図書館をPRしました。

あいにくのお天気でしたが、たくさんの人と触れ合うことができました。気になる最終順位は556位（エントリー総数1699体）。東海テレビの特番にも出演して、名古屋市図書館のことをしっかりとPRしてもらいました。（平成26年11月1日～3日参加）



東海テレビに生出演



ステージで図書館をPR



ヨンデルーのブース

48

ショッピングモールで図書館をPR

西、熱田

図書館をもっともっと利用してもらうためには、図書館以外の場所でも図書館をPRする必要があります。できればたくさん的人が集まる場所で。

子どもたちに大人気のマスコットキャラクターのヨンデルーの活躍もあって、たくさん的人が集まるショッピングモールで図書館をPRする機会も増えました。



イオンモール熱田で



自動車図書館「みなみ号」



自動車図書館「なごや号」

図書館の基本の仕事

図書館の仕事も基本がしっかりしていないといい仕事ができません。資料の収集、整理、保存など図書館の基本の仕事やぜひ知りたい図書館の仕組みをご紹介します。

49

共通貸出返却 どこでも借りられて、どこでも返せる

名古屋市図書館

愛知県に在住・在勤・在学の人なら誰でも名古屋市立図書館共通貸出券を作つて本を借りることができます。もちろん無料で！生まれたばかりの赤ちゃんでもOKです。

貸出券は名古屋市図書館21館と自動車図書館の全館共通で使えるので、時々違う区の図書館に行ってみるのも楽しいかもしれません。借りたところ以外の名古屋市図書館に本を返すこともできます。読みたい本が他の図書館にある時は、予約して取り寄せることもできます。

50

図書選択会議・目録作成 新しい本が並ぶまで

名古屋市図書館

約900冊。鶴舞中央図書館にほぼ毎週届く新しく出版された本の数です。司書がこれらの本を手に取つて書名などの本の情報だけではわからない部分を吟味し、購入する本の候補を選びます。そして、図書館の蔵書となつた本については、本の情報を整備（目録作成）して貸出ができるように準備します。このような作業があるため、図書館の本棚に新刊本が並ぶまでに少しお待ちいただかなければなりません。



約900冊の本が並びます

51

ラストワン 図書1タイトルにつき1冊を保存

名古屋市図書館

ラストワン（最後の1冊）は鶴舞中央図書館の書庫で保存！

名古屋市図書館には、図書1タイトルにつき1冊を保存する「ラストワン」の仕組みがあります。古くなった本が読めるのも図書館ならでは。絶版や品切れで手に入らない本を読むことができたと喜ばれる方がたくさんいらっしゃいます。ときにはぜひ譲ってほしいという方も。そんなときは「よい本なら、きっと他にも読みたいという方がいらっしゃいます。そのときのために図書館で大切に保存しています」とご説明します。

52

ほんシェルジュ 腕章をつけた本の案内・相談係

名古屋市図書館

図書館では本の相談にお応えするレファレンスサービスを行っていますが、残念ながらあまり知られていません。

ホテルのコンシェルジュのように、どんなことでも気軽にご相談いただきたいとはじまったのが「ほんシェルジュ」の取り組みです。「ご案内」の腕章をつけた司書がカウンターや閲覧室でいつでも本のご相談にお応えします。



ほんシェルジュの腕章

53

障害者サービス 対面読書・郵送貸出

名古屋市図書館

視覚障害など活字印刷物をそのままのかたちでは読むことのできない方にも読書を楽しんでいただくため、対面読書サービスを行っています。対面読書サービスは予約制で、図書館の本・雑誌・新聞だけでなく、ご自分でお持ちいただいた資料を、職員や登録ボランティアさんが専用の読書室にて対面でお読みするサービスです。

身体が不自由で図書館まで来られない方や、知的障害の重い方の自宅へ本を届ける郵送貸出も行っています。

54

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

鶴舞中央

国立国会図書館がデジタル化した図書や雑誌のうち、絶版などで現在手に入らないものについて、そのデータを承認をうけた図書館で閲覧および複写できる「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」が、鶴舞中央図書館でご利用いただけます。

対象資料は、平成26年1月現在で図書・古典籍・雑誌・博士論文の4種類で約131万点。名古屋市図書館の約329万点の資料に加えて、鶴舞中央図書館ではさらに多くの貴重な資料をご覧いただけます。



なごやコレクション

名古屋市図書館

名古屋のデジタル資料・データベースが検索・閲覧できる「なごやコレクション」！

○なごやコレクション【画像】

『名古屋市史』編纂のため、江戸から明治にかけての名古屋・尾張地方および尾張藩関係の資料を筆写・収集した「名古屋市史編纂資料」（和装本・地図）、『大正昭和名古屋市史』を編集するにあたって、当時の編纂係が撮影・収集した「名古屋市史資料写真集」、明治後半から昭和初期にかけて刊行された「名古屋の絵葉書」の画像が検索・閲覧できます。

○なごやコレクション【データベース】

鶴舞中央図書館が所蔵する貴重資料の「特別集書資料検索」、名古屋を中心とした尾張・三河地方に関するキーワードを入力すると、図書館の所蔵資料の中から関係する資料情報を調べることができます。「郷土資料データベース」もあります。



56

教科書センター 古い教科書も保存

鶴舞中央、西、中川、南、天白

鶴舞中央・西・中川・南・天白の5つの図書館は「教科書センター」に指定されています。「教科書の発行に関する臨時措置法」に定められた教科書展示会の期間（毎年6～7月頃）には、鶴舞中央図書館では小・中・高・特別支援学校（知的障害のみ）、その他の図書館では高等学校を除く教科書（見本）が閲覧できます。

昭和58年以降の教科書（見本）が保存されている鶴舞中央図書館では、教科書展示会の期間以外も出納による閲覧が可能です。

名古屋なんでも調査団

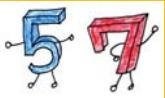
平成24年11月4日、メールレファレンスの受付開始とともに鶴舞中央図書館2階調査研究フロアを担当する奉仕第二係を中心に「名古屋なんでも調査団」が結成されました。

地域資料の収集・保存・提供が名古屋市図書館の責務であることを内外に明らかにするため、その名称には「名古屋」の調べものや資料・情報探しについては「なんでも」トコトン「調査」することが盛り込まれています。

奉仕第二係は中央館の担当係として、地域資料の収集を精力的に進めるとともに、その活用促進を図るため、調査団報告書、なごやカレンダー、名古屋物語、なごやりさ～ちを隨時発表しています。また、各区の分館でも区役所などと連携して、地域資料の収集および活用を図っています。



- 一、名古屋についての資料をどこよりも揃え、
- 一、名古屋のことならどこよりもしつこく調べ、
- 一、名古屋のことを調べているみんなのお手伝いをどこよりもする
この心意気こそが、我ら、名古屋なんでも調査団



レファレンス 調べものや資料・情報探しのお手伝い

名古屋市図書館

レファレンスサービスとは、図書館にある資料などを使って、司書が調べものや資料・情報探しのお手伝いをするサービスです。

名古屋市図書館でのレファレンスサービスは、市立名古屋図書館時代の大正14年11月に「読書相談所」を設置したことに始まり、昭和40年4月には「相談電話」を開始して耳の百科事典をモットーにレファレンスサービスを広く市民に呼びかけました。現在では、各図書館の窓口、電話、文書のほか、電子メールでも受け付けています。



インターネットに名古屋市職員のための図書館ページ

名古屋市図書館

名古屋市のさまざまな課題を解決するために、もっともっと名古屋市職員にも図書館を活用してもらいたい！

市役所のインターネットに名古屋市職員のための図書館ページを開設し、庁内向けレファレンス、所属への図書館資料の貸出、鶴舞中央図書館で使用できる商用データベースの案内のほか、新任職員研修で使用した「図書館使いこなし入門」のテキストも掲載して、図書館の活用を呼びかけています。

59

レファレンス事例を公開 国立国会図書館から礼状も

名古屋市図書館

名古屋市図書館に寄せられたレファレンスのうち、名古屋に関するものや興味深い事例など、その一部を国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースに登録して、インターネットで公開しています。（平成27年7月現在、431件）

例年、年間データ登録件数や年間データ被参考件数などの基準を満たした図書館には国立国会図書館より礼状が贈られますが、平成26年の名古屋市図書館の実績が認められて通算4回目となる礼状をいただくことができました。

「昔、鶴舞公園に金閣寺があったって聞いたけど、ほんと？」 「名古屋顔ってどんな顔？」 「名古屋から富士山は見えますか？」 などなど、名古屋なんでも調査団が調べあげた名古屋についての報告書です。

レファレンスや地域の事項索引の作成など、司書が日々の仕事で得た興味深い名古屋の歴史や文化の情報。それらを1枚の用紙にまとめた調査団報告書は、調査結果の答えだけでなく、回答に至るまでの調査手順や調査に使った資料も紹介しているのが特徴です。

調査団報告書

調査No. 10

調査内容

昔、鶴舞公園に金閣寺があったって聞いたけど、ほんと？

調査手順

昔のことを調べるなら、まずは『新修名古屋市史』から。鶴舞公園の項目を見てみると、明治43年に現在の鶴舞公園の敷地内で博覧会「第十回関西府県連合共進会」が開催されたことが分かった。博覧会といえばいろんなパビリオンが作られるもの。もしかして、金閣寺に似せたパビリオンがあった？

では、共進会について調べてみよう。『第十回関西府県連合共進会全図』は会場全体を俯瞰した図で、建物の形が立体的に描かれている。それを見ると…お寺のような建物が2つあった。ひとつは「貴賓館」、もうひとつは「キリンビール」と書いてある！？

次にちゃんと金閣寺に似た建物かどうか、写真で確認しよう。「貴賓館」については『明治・名古屋の顔』p. 183に載っていた。貴賓館とは「闇天閣(もんてんかく)」という迎賓用の建物で「金閣寺をそのまま、そっくり模した」という説明文が載っている。「キリンビール」の方は『麒麟麦酒株式会社五十年史』p. 74に写真を発見。そこには「金閣寺を模したキリンビヤホール」の文字が。なんと、ビヤホールだったのか！この頃からビヤホールってあったんだなあ。

調査結果

明治43(1910)年に開催された博覧会「第十回関西府県連合共進会」時に建てられた建物で、「闇天閣」という貴賓館と、キリンビールのビヤホールの2つがあった。写真で見ると両方とも外観は微妙に違っているけれど、どちらも「金閣寺を模して造られたものらしい。今は残っていないのが残念。

今回の調査で使った資料

『新修名古屋市史 第6巻』 新修名古屋市史編集委員会／編集

名古屋市 2000年

『第十回関西府県連合共進会全図:三府二十八県』 名古屋用達 1910年

『明治・名古屋の顔』 脇部鉢太郎／著 六法出版社 1973年

『麒麟麦酒株式会社五十年史』 麒麟麦酒／編集 麒麟麦酒 1957年



61

なごやカレンダー 今日は何の日？なごやの日！

鶴舞中央

○月×日に名古屋で何があったのか、名古屋の出来事を月日から調べることができるカレンダーです。

名古屋市図書館ホームページで日替わりで紹介していますので、朝礼の一言スピーチのネタとしてもご利用いただけます。また、「月日」だけでなく「年」や典拠情報もあるため、周年イベントの企画にも便利です。

10月（抜粋）

日	年	出来事	典拠
22日	1913（大正2）年	堀川に景雲橋が架かる、渡り初め式と御幸道路開通式を行う。	『名古屋市政年史』
22日	2011（平成23）年	緑区キャラクター・みどりっち 緑区区民まつりに初登場	『広報なごや縮刷版 平成23年1～12月号（No.757～No.768）』

62

名古屋物語 名古屋を舞台にした小説

鶴舞中央

名古屋の魅力いっぱいのものから、思わず見落としそうな1カット登場のものまで、名古屋を描いた小説を集めました。

「その作品にどのくらい名古屋が登場しているか」を基準に、小説の名古屋度を3段階に分けていますので、お好みの名古屋度を楽しむことができます。

作品名	著者	掲載されている資料	名古屋度	コメント
幽鬼の塔	江戸川乱歩	『少年探偵 江戸川乱歩全集43』（ポプラ社）	☆☆☆	事件の背景を調べに名古屋へ。市立図書館で新聞を調べる。
ぶらりぶらこの恋	吉川トリコ	『ぶらりぶらこの恋』（幻冬舎）	☆☆☆	主人公が名古屋市内でピアノを教えている。会話は全編名古屋弁。女子大小路のピアノバー、名古屋城、名古屋城近くのホテルなどでてくる。

63

なごやりさ～ち・事項索引

名古屋市図書館

名古屋に関するレファレンスの質問・相談は日本全国から寄せられます。「名古屋」の調べものや資料・情報探しについて「なんでも」トコトン「調査」するためには、レファレンス事例を記録して共有したり、本の中に名古屋に関する記述を見つけたときはすかさず事項索引に追加したりと、日頃の準備が欠かせません。

さらに、よくある質問・相談に対してはできるだけ早く応えられるように名古屋の地名や江戸時代の名古屋の人物の調べ方をまとめたり、名古屋の地図などを年代順にリストアップしたりした名古屋の調べものガイド「なごやりさ～ち」を作成・公開することも、名古屋に関する研究を支援する名古屋なんでも調査団の大切な活動の一つです。

64

新聞クリッピング 地味に便利です

鶴舞中央

名古屋に関する新聞記事を切り抜いて台紙に貼りつける
新聞クリッピング。鶴舞中央図書館2階の郷土資料・新聞
コーナーの奥の方、棚一面を埋め尽くす新聞クリッピング
は、知る人ぞ知る存在です。

鶴舞中央図書館2階には調査研究用の新聞データベース（中日、朝日、読売、毎日、日経）もありますが、テーマごとに綴られた新聞クリッピングは地味に便利です。新聞クリッピングなら適切なキーワードがわからなくても、およよそのテーマで調べることができます。また、テーマに関する意外な話題に遭遇して調査研究のヒントが見つかるなど、紙媒体ならではのよさに根強い人気があります。



新聞コーナーの一角



名古屋なんでも調査団マスコットキャラクター
「758くん」

子ども読書活動の推進

子どもたちに大人気のヨンデルーは名古屋市子ども読書活動推進計画のマスコットキャラクターです。名古屋市では「読書でふくらむ子どもの夢」をキヤッチフレーズに、さまざまな施策に取り組み、子どもの読書環境の整備を行い、読書活動を推進することに努めています。

もちろん名古屋市図書館でも、ヨンデルーの力も借りながらさまざまな施策に取り組んでいます。



65

保健所健診時におはなし会 はじめての本との出会い事業

名古屋市図書館

保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行う「はじめての本との出会い事業」は楠図書館と北保健所楠分室との連携からはじめました。

現在では全区の保健所に広まり、毎回図書館職員とボランティアが協力して絵本の読み聞かせを行うとともに、3種類の絵本の紹介冊子を配布しています。

平成26年度には全区の保健所で507回26,590人の子どもと保護者に対して実施しました。

66

ブックトーク＆読み聞かせ その道の達人派遣事業

名古屋市図書館

子どもたちに本に親しんでもらおうと、各図書館で行っているのが「ブックトーク＆読み聞かせ」です。学校を訪問して、本の紹介（ブックトーク）をしたり、読み聞かせやおはなしを楽しんでもらったりします。

またこれは、求めに応じて専門家が学校に出向き、専門分野をわかりやすく伝える「その道の達人派遣事業」という教育委員会の事業の一つでもあります。子どもの本の“達人”である児童担当司書が、多くの学校で子どもたちに本の魅力を伝えています。

67

図書館訪問、職場体験の受け入れ

名古屋市図書館

図書館を見学したい、図書館で調べ学習をしたいという学校からのご要望に応じて司書が館内見学ツアーや読み聞かせの実演、百科事典の使い方講座などの学習の援助を行っています。また、職業体験学習の場として主に中学生を受け入れ、カウンター業務など図書館の仕事を実際に体験してもらっています。

平成26年度は市内の小・中・特別支援学校64校3,841人の訪問と中学生・高校生344人の職場体験を受け入れました。

68

学校図書館を応援する学校図書館連携窓口

鶴舞中央

子どもの身近にあって読書や学習に大きな役割を持つ学校図書館。その学校図書館との協力をすすめるため、名古屋市図書館は「学校図書館連携窓口」を設置しています。活動内容は、本に関する情報提供や図書室整備のお手伝い、図書委員会・授業への協力などで、担当の先生からのご相談に応じ学校図書館の活性化をバックアップします。また、学校専用貸出サービス「学習支援図書セット貸出」「特別支援教育資料貸出」もこの窓口が行っています。

69

学習支援図書セット貸出

鶴舞中央

「学校図書館連携窓口」が行っている学校専用の学習用図書貸出サービスです。「点字」「昔の暮らし」「戦争・平和」など授業でよく使われるテーマの本を1クラス分40冊のセットにし、専用コンテナに入れて宅配便で学校へお届けします。もちろん送料も往復図書館が負担。平成25年度の秋に5テーマ各5セットから始まったサービスですが、現在は11テーマ全65セットに広がり、名古屋市立の小中学校での学習活動をしっかりと応援しています。

70

特別支援教育資料貸出

鶴舞中央

「学習支援図書セット貸出」の姉妹編で、障害を持つ子どもたちへの読書支援として特別支援学校・特別支援学級向けに行っている貸出サービスです。活字を読んだり本を手にとったりすることが難しい子どもにも本やおはなしを楽しんでもらえるよう、いろいろな形態の資料を用意しています。現在あるのは、紙芝居・DVD・マルチメディアDAISY・布の絵本・大型絵本の5種類。担任の先生に子どもたちにあう資料を20点まで選んでいただき、「セット貸出」と同じく宅配便でお届けしています。

図書館ではこわれた本を修理したり、より多くの人が繰り返し読めるように本をあらかじめ補強したりしています。この経験を学校図書館でも活用していただくため、本の修理・装備ボランティアを育成し、本の修理・装備の面でも学校図書館を支援しています。

平成26年度には延べ61校に延べ259人（ボランティア183人、職員76人）を派遣し、4,658冊を修理・装備しました。

小学生に司書の仕事を4日間の日程で体験してもらう事業です。さらに、その体験を通して感じたことや図書館の楽しみ方などを報告資料にまとめ、「子ども図書館大使」として小学校で図書館の魅力を伝えていただくという大切な役目を子どもたちに担っていただきます。



自分の生まれた日の新聞を調べて



百科事典の使い方を学んで



本に透明なカバーを貼って



コンピューターの使い方を練習をして 実際に本の貸出・返却をして



おはなし会もやりました

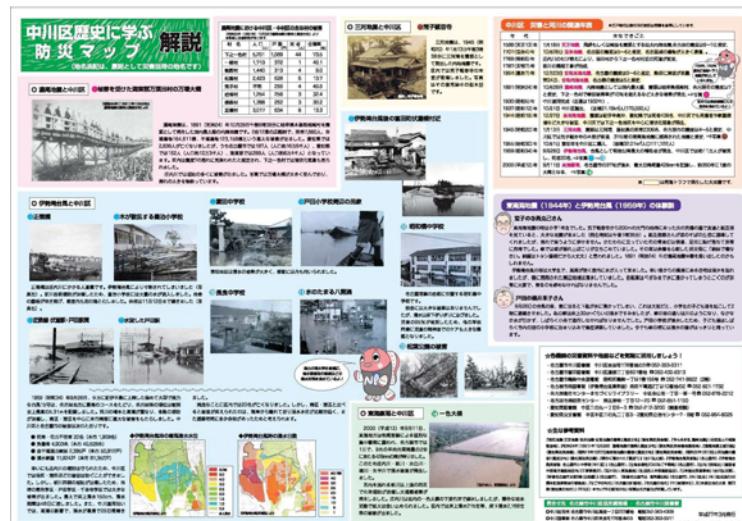
さまざまな連携

さまざまなジャンルの本がたくさんある図書館には、どのような分野でも必ず関連本があります。だから図書館はどんなところとも連携が可能です。

保健所健診時のおはなし会や社会福祉協議会との連携による音読教室のように名古屋市図書館の事業として全館で実施しているものもあれば、行事の開催や資料収集、情報発信など各図書館が個別に連携を進めているものもあります。

「地震や風水害への防災意識を高めるような地図を作りたいので協力してほしい」という中川区役所からの要望にお応えして、明治以降の主な災害（濃尾地震、三河地震、伊勢湾台風、東海豪雨）による中川区の被害状況のわかる資料を調べて提供しましたが、それだけにとどまりません。

中川図書館では日頃から地域に関する資料を多く扱う経験を活かし、地域資料活用のアドバイザーとしてさらなる情報提供はできないだろうかと考えました。都市化が始まる以前の明治中期の村落の位置や旧河道、干拓の変遷図、過去の地形の特徴を今に伝える地名など、防災意識を高めるために役立ちそうな情報をピックアップして積極的に提供し、区役所と図書館の連携で完成したのが「中川区 歴史に学ぶ防災マップ」です。



北

市民病院提供の病気や薬のパンフレットをファイルに綴じて手軽に手に取れるよう工夫している緑図書館や徳重図書館のように、必要な資料を寄贈していただくなど関係各所に協力をお願いすることによくあります。

医療・健康の分野では北図書館が西部医療センターと連携した取り組みを行っています。医療情報コーナーの設置にあたって資料を提供していただいたほか、医師による市民向けセミナーの図書館での開催についてもご協力いただいている。また、西部医療センターの妊婦対象の講座で、司書が絵本の紹介をしています。



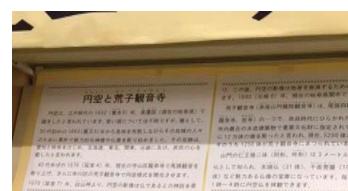
地域団体と連携した仏像も並ぶ特設コーナー

中川

中川図書館に近い荒子観音寺は、奈良時代創建の名刹で室町時代に再建された多宝塔は市内最古の建造物で重要文化財にも指定されています。この荒子観音寺に江戸時代に滞在したのが仏師として名高い円空（1632-1695）で、円空は生涯に約12万体の神仏像を彫り上げ、荒子観音寺でその素朴で力強い様式を完成したと言われています。

地域に関する資料を収集・保存することも大切な仕事の一つである図書館では、その地域と関わりの深い人物の名前を冠した特設コーナーを設置することがあり、中川図書館にも円空コーナーが設けられています。

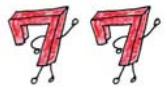
この円空コーナーの特徴は一目瞭然です。関連本だけでなく、円空仏（模刻）が並べられているのです。これらは荒子観音寺で活動する「円空仏彫刻 木端（こっぱ）の会」の協力によるもので、その模刻体験や荒子観音寺での仏像公開日（毎月第二土曜日）を紹介するなど、地元の魅力的な活動についても情報発信しています。



図書館と本屋さん。どちらもたくさん本があって、たくさんの人々にたくさんの本を読んでもらいたいと願っています。

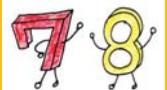
徳重図書館では、読書週間の本の展示に合わせて、書店からコメントをいただき、展示の中ではばっちりと書店も紹介させていただきました。（平成26年度実施）

名古屋市図書館全体でも地元書店が参加する「ブックマークナゴヤ」のイベントを図書館を会場に行なうなど、本屋さんと連携した取り組みがはじまっています。



地元サッカーチームとの連携

名古屋を拠点とするサッカーチーム、名古屋グランパス。瑞穂図書館のグランパスコーナーや関連グッズの展示、関係者による講演会、選手の愛読書の紹介、週替わりで4枚集めるとチームフラッグになる図書館マナーアップしおり、グランパスくんの一日図書館広報大使への就任など、名古屋グランパスとの連携は多方面にわたります。



地元の商店街との連携

瑞穂通商店街が行なう名古屋グランパスの選手の中からイケメンを選ぶイベント「イケメン オブ ザ イヤー」の表彰式に潜入して、その記事をグランパスコーナーで紹介する瑞穂図書館。商店街の行事チラシに図書館の記事を掲載してもらい、そのチラシを図書館で並べる南図書館など、地域資料の収集や情報発信の面で、地元商店街と連携を進めている図書館もあります。

79

大学と連携して18時30分からの図書館サイエンス夜話

鶴舞中央

愛知県全域で開催される地域科学祭「あいちサイエンスフェスティバル」。鶴舞中央図書館では名古屋大学の教授、准教授を講師にお招きして最新の科学の話をしていただく平日18時30分からの図書館サイエンス夜話を開催しました。

社会人や学生の参加しやすい夕方の時間帯に設定したのが功を奏し、どの回も満席で受講満足度も高く大好評でした。（平成26年10月24日、10月30日、11月7日実施）



★第一夜★

「情熱サイエンス 植物科学で
食糧増産に挑む」



★第二夜★

「脳を知ることで魚の
行動を知る」



★第三夜★

「野生生物をとことん追跡 先端技術
で行動を記録するバイオロギング」

80

名古屋市立高校の文芸部や漫画研究部の作品集合！

緑

名古屋市立高校の文芸部や漫画研究部で作成している作品集が緑図書館に大集合！

緑高校創作部作成の「あにまんじゅう」「もじまんじゅう」など、一般の人は文化祭などの機会でしか見ることのできないレアなものばかり。未来の大作家の初期作品に触れることのできるチャンスだったかもしれません。（平成26年2月22日～3月20日実施）



未来の大作家の作品も？

グランパスを図書館で応援しよう!

グランパスくん
名古屋グランパス公式マスコット

ヨンデルー
名古屋市立図書館キャラクター

1 名古屋グランパス応援フラッグを書きよう

日程: 平成27年2月11日(水・祝) ~ 3月22日(日)
場所: 鶴舞中央図書館、瑞穂図書館

2015年シーズンのグランパスを応援するメッセージをみんなで書きよう!!

2 応援フラッグ贈呈式

日時: 平成27年3月29日(日)
場所: 鶴舞中央図書館

図書館にグランパスがやってくる!グランパスへの花道メッセージをみんなでとけよう!!

MAP

名古屋市立図書館はJR西口改札から直結です。地下鉄改札からも徒歩約5分で到着できます。
図書館前にグランパスがやってくる!グランパスへの花道メッセージをみんなでとけよう!!

名古屋市立図書館 TEL 052-741-3131

図書館へは
市バス・地下鉄をご利用ください

ドニチエコさっぷで、市バス・地下鉄でのでかけが、便利でお得になります。大人600円・小兒300円で
土・日・休日及び毎月8日(名古屋市の環境保全の日)に、ご利用いただけるドニチエコさっぷ
バス・地下鉄が1日乗り放題!

こんなものも作っています

図書館で発行している印刷物を思いつくままに挙げてみると、まずは新刊案内、小学校にも配布している毎月の図書館だより、本の展示に合わせてブックリストを作ることも。平成26年度には全館の合計で88種類の出版物を刊行しています。

子どもたちが読みたい本をみつけられるよう、赤ちゃんからティーンズまでほぼグレードにあわせて、いろいろな本のリストを作っています。また、毎年刊行している『こんなほん あんなほん 小学生向き』と『こんなほん あんなほん ティーンズ（中高生）向き』は、前年に図書館に入った本の中からおすすめのものを紹介するリストです。表紙のイラストは市民のみなさんから募集したもので、毎年応募作品のイラスト展も行われます。（平成27年7月18日～8月31日 応募作品全57点のイラスト展実施）



あかちゃんのほん
(0・1・2歳向け)



100さつのえほんたち
(幼児向き)



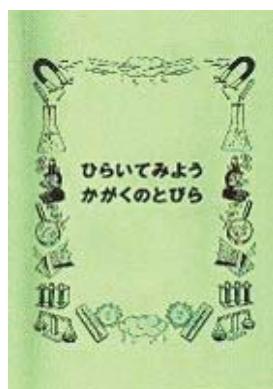
どうわがいっぱい
(1・2年生向き)



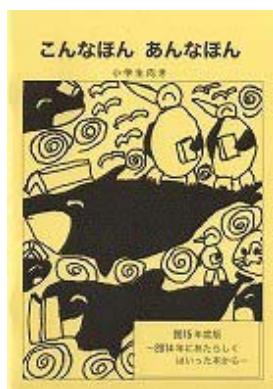
どれから よもうかな?
(3・4年生向き)



どこから読んでも
おもしろい
(5・6年生から)



ひらいてみよう
かがくのとびら
(科学の本)



こんなほん あんなほん
小学生向き
(年刊)



こんなほん あんなほん
ティーンズ (中高生) 向き
(年刊)

小学校で、授業開始前の10分間（朝読書の時間）や授業の合間の放課時間を利用して、絵本の読み聞かせ活動をされているボランティアさんにどんな絵本を選んだらよいのかとご相談いただくことがあります。

そんな方のために作られたのが『ボランティア向け読み聞かせ絵本リスト』です。およそ10分間で1クラス20～30人向けに読み聞かせをするのにぴったりのおすすめ絵本をその特徴や読み聞かせのポイント、読み聞かせにかかる時間の目安とともにご紹介しています。

また、年少向けから、昔話、季節、行事のものなど、全部で82タイトルの紙芝居を紹介する『おはなしかいのためのかみしばいりすと』もあります。



ボランティアさん向けに作成

図書館の中で選書と図書購入はとても時間と手間のかかる仕事です。担当の先生が一人しかいない学校図書館ならなおさらたいへんです。

そこで名古屋市図書館の「学校図書館連携窓口」では、小学校の図書館担当の先生方に図書購入の参考にしていただこうと、図書リスト『としょかんほんのたね』を作りました。内容は、小学校の国語教科書に載っている本と、図書館の児童担当者が選んだ学年別のおすすめ本。発注作業が簡単にできるよう、出版者や値段も載せてています。

たくさんの小さな種からやがて森が育つように、学校図書館の“本の森”を豊かにするためこのリストが少しでも役立てば…と願っています。



学校図書館のための本の種

名古屋市子ども読書活動推進計画のマスコットキャラクターのヨンデルーが表紙を飾る『なごやっ子読書ノート』は名古屋市立の小学校および特別支援学校小学部で配布されています。

「言葉の力の育成」を目的に作られた読書ノートは、1・2年生、3・4年生、5・6年生の3種類。どれも「図書館おすすめ本の紹介」や「読書の記録」のページ、コラムや来館を促すパラパラマンガシールなど、子どもが本に親しめるよう工夫をこらしています。

裏表紙は「表彰状」となっており、ノートを全部使い切った子どもに、おうちの人や先生、図書館から「たくさん読んだで賞」が贈られます。



表紙はヨンデルー！



なごやっ子読書カード

まずは本を読んでみる。紹介する本が決まったら、思いのだけを読書カードにぶつけて、学校の図書室や最寄りの図書館に持っていく！

図書館に投稿された読書カードは、図書館での本の紹介や展示などに活用されるという仕組みです。ぱっと見てぐっとくる読書カードを読んだ人は興味を持ち、紹介された本を借りていく。きみの好きな本が、だれかの世界を変えるかもしれない。

そんな可能性を秘めた読書カードは、図書館での配布だけでなく、名古屋市立の中学校および特別支援学校中等部の1年生・2年生の全員に配布しています。



読書カード2015

名古屋市図書館

ごちゃごちゃっとおしゃべりしょーよ、というくらいの意味の『ごちゃっと』は名古屋市図書館のティーンズ向けの広報紙。平成21年1月創刊の隔月刊誌です。

物語に出てくる料理を再現する「はじめて（?）の料理」（8号）、名古屋市図書館21館を1日でどれだけ回れるかを競う「ザ！トショカンダッシュ」（12号）、500ページ以上のとにかく分厚い本に挑む「分厚い本を読んでみる」（35号）などなど、司書が知恵をしぶり、体をはってチャレンジする企画満載で、ティーンズは随分前に卒業したという方にもおすすめです。

図書館と昆虫の意外な関係！？

近年、名古屋市図書館では夏の間生きた昆虫を展示することがひそかなブームとなっている。そんな折、一人の子どもがわざわざして素朴な疑問を口にした。「どうして図書館に虫があるの？」「…」

昆虫ブームの謎にせまるべく、取材を行った！

「スズメシ農場」
（富山市書館）
未熟ごとに成長する姿
が楽しめます♪

「南陽図書館尾張屋」
カットシマなどの虫が
カウンターにズラリ！

「めざせ！虫博士プロジェクト」
（名古屋市書館）
ニジイロクワガタなど、珍しい甲虫が
いっぱい！ クズベニ正解するとスマッシュ
がもらえる企画。（現在は終了しています。）

展示のきっかけは、「近所の方や職員がもってきててくれたから」「講座の宣伝のため」となど館によつてさまざま。それが子どもたちの喜ぶ顔を見て、やめられなくなるどころかハマーハップしていたよう。尾虫展示は図書館職員のホスピタリティ精神のあらわれ（？）なのかも。そして今年はアーフル生誕100周年。みんなもの機会に小さな昆虫たちの世界に想いを馳せてみてはどうだろう。

＊植物部会
＊現在57匹の釣魚を暮らしています。一足早く秋の気配（は）は（）+ 買ってたレタスの間にイモシキヒキスイであります。朝ごとにしました。オオバコゴムの幼虫と思われますので「たばこ」を名づけ、毎日治療しております。（音）＊幼少時から虫は大の苦手（くさ）しかし治理環境のためには必要なので、何とか共存だと思います。
(千音)＊これを書き読みたら夏休みです。今年は何がりますでしょうか？（sh）

※表紙の細胞周期に関する著作権の許諾については、出版社の許可をいただけております。

ごちゃっと

ティーンズ広報紙 第41号

2015年9月1日発行
発行：名古屋市鶴舞中央図書館
Tel 052-741-9811
Fax 052-733-6337
<http://www.library.city.nagoya.jp/>

特集1 愛知サマーセミナー2015に参加しました！

特集2 おすすめ本のPOPができあがりました～！

手編み
「ヤマード」山田図書館
秋を感じるひと時
スポーツ
「エンドラー」名古屋市子ども読書活動推進計画
アーチャー！
「あらっこ」中川図書館
「つちちゃん」鶴舞中央図書館
この印刷物は古紙パルプをふくらみ再生紙を使用しています。

特集2 おすすめ本のPOPができあがりました～！

講座に参加してくれたみんながつくったPOPを紹介するよ！うーん、カラーで見てほしい！！（HPだと見られるかの）どれもクオリティが高いので、本の紹介の時間が省けました。えへへ。ありがとうございます！（=せきしらひ）とにかくどれも読んでみたくなるよね！ハイ、読んでみたくなったら、近くの図書館へGO～！！

名古屋市図書館では
読書カード（おすすめ本の紹介カード）を
配布と投稿受付中！
POP感覚で作ってみてね☆

「うたご」って名前だんだ！このぶたさん！！
「まさかの3色」1、2巻もおすすめだよ！
「さやーん。いやされ度120%」
「泣ける本の定番ですね。」

「みづかのうたこさん」ディックブルー／文・絵：鶴巻信輔
「珈琲店ルーランの事件簿」七五郎ナカノ／著：佐野桂一
「カワイイのは？でした！動物の図鑑」高橋 実基／著：高橋実基
「火薙に再び」春山かほ／著：新潮社
「ツナグ」辻村深月／著：新潮社

46億年の歴史に想いをさせましょう～！
みんなの永遠のアイドルしうまちゃん☆
食育！味！読むと人生変わろう。
「屍者の帝国」吉高ひでゆき／著：伊藤真一／著：河出書房新社
「銀河鉄道の夜」宮沢賢治／著：講談社



ブックカバーになる利用案内

ゆるキャラグランプリ

「ゆるキャラ (R)グランプリ2014 in セントレア」への
ヨンデルーの初参加を記念してブックカバーになる利用案
内を作りました。

ブックカバーらしくクラフト紙を使用し、表面にはヨン
デルーのイラストと名古屋市図書館の建物館21館の位置を
示す地図がやや控え目にデザインされています。裏面は利
用者からの質問にヨンデルーが答える会話形式の利用案内
で、新書用と文庫用の折線がついています。利用者からの
質問は「ちょっと聞きたいんだけど、図書館は誰でも使
えるんかい？」など、図書館所蔵の方言辞典を使って名
古屋ことば（名古屋弁）にもこだわりました。（平成26年
11月1日～3日配布）



裏面には利用案内も



区のマスコットキャラクター付き貸出券

瑞穂

名古屋市図書館の建物館21館と自動車図書館で使う事が
できる名古屋市立図書館共通貸出券。

緑を基調とした極めてシンプルなデザインを長年採用し
ていますが、瑞穂図書館の移転開館を記念してヨンデルー
と瑞穂区のマスコットキャラクターのみずほっぺがデザイ
ンされた貸出券を発行しました。新規登録の際に通常デザ
インとマスコットキャラクター付きの限定デザインの好き
な方を選べるようにしたところ、限定デザインは子どもか
ら大人まで大好評。用意した1,000枚の限定デザイン貸出
券は開館1週間でなくなり、新規登録に一役買いました。
(平成27年7月実施)



限定デザインの貸出券

きらりと光る図書館の仕事 名古屋市図書館88景

平成27年10月22日 発行

編集 平成27年度東海北陸地区公共図書館研究集会プロジェクトチーム

発行 名古屋市鶴舞中央図書館
〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番155号
電話(052)741-3131 FAX(052)733-6337